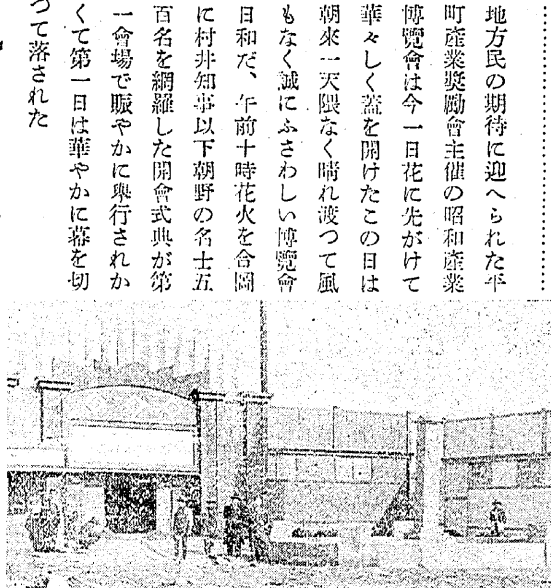


刊夕日一月四



休日 日曜 祭日
一月廿五日
郵税十五錢 一部二錢
廣告料一行四〇錢
場所指定廿四行
發行所 印刷所
牛 谷 政 喜
新島縣平町大町五
新島新聞社

産業博覧會



地方民の期待に迎へられた平町産業博覧會主催の昭産業博覧會は今日花に先がけて華々しく蓋を開けたこの日は朝来一天隈なく晴れ渡つて風もなく誠にふさわしい博覧會日和だ、午前十時花火を合圖に村井知事以下朝野の名士五百名を網羅した開會式典が第一會場で賑やかに舉行されかくて第一日は華やかに幕を切つて落された

産業博覧會總裁 村井知事の告辭

平町産業博覧會主催昭産業博覧會の準備成り本日茲に開會の式典を擧ぐるに至りたるは洵に欣幸に堪ざる所なり
抑々産業立國は我國建國以來の大國是にして其の向上發展が國運伸長の基調たることは今更贅言を要せざる所にして世界各國が競ふて産業の振興に鋭意施設しつ

ある所以も此に存するなり、然りと雖も我國産業の趨勢を觀るに多年經濟界沈滞の後を承け國富漸く既して遂に金輸出を禁止し世界市場の公平に立つことを得たりと雖も未だ以て速に貿易の趨勢を挽回するに到らず我經濟界をして常道に復せしめ進んで産業の確實なる發達を圖ることは我國

各會場の出品

内地、殖民地を網羅して 凡ゆる産業の粹を蒐む
この附近には各府縣の特産品即賣所がある
△第三會場は國防館、保健館、新報社特設館に分れ、國防館には農林省の兎毛皮、海軍燃料廠の煉炭航空用揮發油、警留氣球その他の寫眞を収め陸軍被服廠からは電熱航空被服人形、投下爆彈模型、滿州軍變戰利品（拳銃、旅團旗、自動短銃、鐵カブト、輕機關銃）を陳列、東北帝大本多博士自慢の防彈チヨッキ、仙台放送局のロボット、放送用撥音の種明し、磐城炭礦のコールカッター實演もこゝであり簡易保健局では毎日映畫を上映し保健思想を普及せしめる、保健館には花柳病共の他の模型二百點を陳列衛生思想の普及をはかる時、新報特設館には新聞製作

各町設備

産業は博覧會の開催と共に平町の各區では町内入口にそれぞれ趣向をこらした大アーチを作り町内沿道には電燈雪洞を並べて今日から一齊に點火する筈では博覧會協賛會では驛前に高さ五十尺の歡迎塔を立て夜間點燈するので博覧會開會中は全町火に飾られるわけである

五萬圓程度を以て 公會堂の建設計畫

平町では從來に於ける御座なりの町是調査を一躍積極的の方針を改め過般に關する町會を開き五項目に分けた躍進に關して調査を遂げる筈である
任務設計（基礎工事建築方、法平家、二階建）
地質調査
に關して調査を遂げる筈である
特別設立並に學校基金、等財源に於ては可能性がない
ではなく總工費五萬圓程度を以て準不燃質の建築をなさうとしてゐるらしい之を本縣

知事歡迎宴

平町では一日午後六時から吉屋本店で村井知事の歡迎宴を開いた

入場料と開場時間

産業博覧會入場料は普通三圓、共通大人二十錢、小兒半額、學生團體五十人以上は五錢である開場時間は二日から五月十日迄毎日午前九時から午後九時までである

矢田川改修

工事竣成して 喜ぶ部落民
玉川村地内矢田川は從來些少の降雨にも河川氾濫し沿岸農家の被害多くなつたので客年十月廿五日工費八千三百五十圓で縣補助工事として着工、意進捗中と云ふ昨廿一日竣工したので今後は全く水害から救はれることとなり村民は大いに喜んでゐる

井上縣議宅へ 賊押入る

犯人逃走す
赤井村赤井木田勇（○）は廿日午前十一時頃平町五丁目縣會議員井上茂作氏宅を訪れ家人の留守を窺つて手提金庫の中から金銀時計及メタル價額百二十圓並に現金三十圓を窃取逃走したので平署で嚴密中

本年一才駒價格 昨年より一割下落

馬質は一般に向上したが 更に一段の努力が必要
澤波村中寺では去る廿日から五日間ほん年度最初の二才駒を賣行つてゐるが廿日の成績は出駒四十九頭でこの總價格千八百七十四圓、最高五十一圓、最低九圓、平均廿八圓で廿一日成績は出駒三十頭價格千二百圓、最高四十二圓、最低廿九圓、平均四十四圓六錢となつてゐる、而してその出駒頭数は昨年度に比し大體同數であるが相場は不況のため何れも二割方の下落であるが郡産馬は近年著しく馬質向上を來し駒價の度毎に他地方からも多數の商人が來郡するやうになつてゐるのは甚だ喜ぶべき傾向であるがそれにも拘らず廿日の成績を見る如く最高價と最低價との間に斯くの如き開きを見ることを遺憾とさし今後の馬質改良には更に一段の努力が必要であることを物語つてゐる

内妻を半殺し

内郷村の慘劇
内郷村宮大工藤川口幸喜は（三）廿九日朝、内縁の妻お木はるの（三）口論の末手斧を以てはるの、頭部を嚴打瀕死の重傷を負はせ逃走した

中堅生同窓會

石城郡農會中堅農民講習會同窓會は廿日午前十時から平町園休事務所で開催する

公園のボン

例年より早く立てる計畫
平消防組では例年四月十五日頃から松ヶ岡公園に電燈雪洞を作つて夜の觀櫻客の便を計つてゐたが今春は特に産業博覧會の催し物が相次いで行はれるので例年より早く十日頃から電燈の雪洞點火を開始することになり準備に忙殺されてゐる

小名濱町農會

七年度豫算總會
小名濱町農會では廿日午前七時から町役場に總會を開き七

三市に於ける 福島市公會堂西洋間二九三坪五七、日本間五七坪七五、工費四三三八圓（縣補助一五〇〇圓）郡山市西洋間四一八坪四八日本間九二坪、工費二九三二六七圓（縣補助四四五〇〇圓）
若松市物産陳列場三三二坪西洋間四三三坪、工費一五八三九〇圓（縣補助二〇〇〇圓）

に比較し貧弱の様ではあるが各建築當時の諸物價より見て同町今回の目論見は寧ろ三市の夫れに劣らざるものが出来そうなので此際建築を有利とされてゐるから本年度内に於て實現するであらうと

▲委員佐藤岩次郎、國府田直良、大森勇、馬目武之助、馬目雅治、酒井清、野崎滿藏（以上）

祝 昭 和 産 業 博 覽 會

平町産業奨励會
主催の昭和産業博
覽會は、切にそ
うな人気が沸騰に待
たれてゐたが、今一
日、曉空に激しく
發の煙火に夜の幕
をおろして、愈上開
場された。

起請以來數ヶ月
に渉る主催地の苦
心の設備は、歴然た
る實果を上げて第
一會場から第三會
場に至る南裏新街
地の華麗は、宛然一
大パノラマを見る
様な盛況である。

出品物に輝をこ
らした陳列は何れ
も各地方の特色
を發揮し、各府縣に
特産を誇つてはつ
測たる生氣をみな
ぎらし、打撃ける經
濟界の不況に、一層
の緊張を促された
意氣込みは、著しき
國産の普及向上を
示し、地元物産にも
飛躍的の發達を止
め、共に商品の信用
價を博さんとする
燃えるやうな努力
が窺はれる。

會場内の陳列品
に出品者の多くが
販賣主義をとつた
ことも、實物の實驗
に求むる爲めの優
良品普及の見地か
らであらう、斯の
如き舉國的の奮闘
は、到普通通に於て
は見るを得ない萬
華の鏡である。

第二會場の全景



活動常設
平館
電話四六六番

活動常設
世界館
電話四四六番

劇場
聚樂館
電話四七〇番

釜屋

春衣新柄特賣

伊關吳服店

平町二丁目 電話三三三番

割烹 谷口樓

電話八番

濱三郡
木炭同業組合

平町四丁目

ツルヤ
洋品店

電話一四〇番

山崎合名會社

電話三九二タクシ
電話四四九の勢ひ
平町二丁目 松崎自動車部

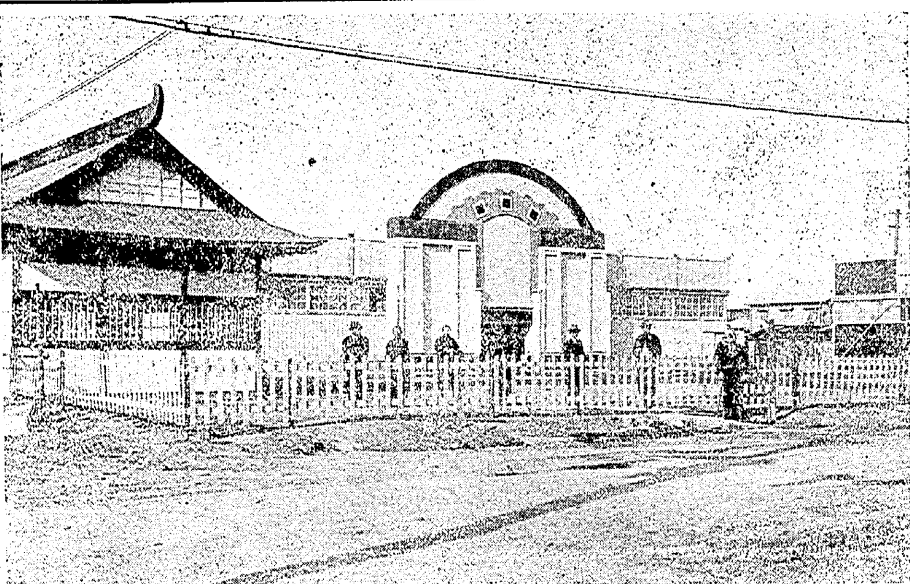
平町旅館組合

第二會場内特設館

動力器具の
實驗と即賣
正金商會

電話三九〇番

第三會場全景



通造新前察平

堂食モトルマ

番三二一話電

器漆具家

店商んは丸

番九五三話電目丁三町平

下園公の花

岡ヶ松一エフカ